

一橋論叢第八十七卷総目次

論 説

日本における鉄道政策の転換	大島 藤太郎	一	号	通
—— 日本的交通形態形成の原点 ——				一
公営交通の合理化と労働	佐 竹 義 昌	一	二	二
I A T A の運賃設定機能をめぐる論議	増 井 健 一	一	三	三
都市交通問題に関する試論	岡 田 清	一	四	四
瀬戸内地域における離島航路について	宮 崎 満	一	五	五
交通における規模の経済性	杉 山 武 彦	一	六	六
「商品過剰論」と「資本過剰論」との区分の誤りについて	井 村 喜 代 子	二	一	三
デュシェールとフランス航海条例	山 崎 耕 一	二	二	四
ヒルファディングと大衆ストライキ論争	河 野 裕 康	二	三	六
不確実性とケインズ経済学	青 木 正 紀	二	四	八
—— 情報問題からみた「ケインズ」古典派論争 ——				一
藤津清治教授の経営史研究——ひとつのコメント——	米 川 伸 一	三	一	二

終身雇用制度の変化と連続性	雲嶋良雄	三	二七
——アベグレンの新著を中心として——			
「技術的中核」の合理化と機械化の原理	田島壮幸	三	二六
わが国上場企業の株主総会と企業支配	平田光弘	三	三〇四
競争的企業間における長期契約について	佐久間昭光	三	三〇四
自律的作業集団の企業の必要性	村田和彦	三	三〇五
——フリードマンとシュマールの所論を中心として——			
メタ・テクノロジ	榊原清則	三	一〇三
——技術のダイナミクス——			
政府士族授産政策と小野田セメント	米倉誠一郎	三	二七
中世後期の自伝二著	阿部謹也	四	一
——トマス・ブラッターとブルカルト・チンク——			
一九世紀末における銀価変動と上海金融市場	浜下武志	四	二九
——中国通商銀行の初期活動に関連して——			
一九二二年のポール・ヴァレリー	恒川邦夫	四	四六
——写真版『カイエ』の断章を中心に			
企業の国際比較——そのフレイムワーク	伊丹敬之	四	五五
二つの国際的統一手法	川村正幸	四	八四
——ジュネーヴ統一手法とUNCITRAL国際手法草案の比較考察			
「思想史研究」以前	塚田富治	四	一〇三

数学とは何か……………	岡本和夫	四	二九	五二
日本の所得分布研究の展望……………	溝口敏行	五	一	五九
フィリピン職工事情瞥見……………	尾高煌之助	五	二四	五三
満州移民の兩義性と市場圏外労働移動の意義……………	清川雪彦	五	七	五七
——市場の政治経済分析試論——				
旧満洲(現東北三省)の地域別農業生産構造……………	中兼和津次	五	六	六〇
——地域別中国研究への一接近——				
一九世紀初頭北部ベンガルの洋式藍業……………	谷口晋吉	五	九	六三
中国の農産物生産費調査……………	田島俊雄	五	二八	六四
石川滋教授の方法と研究環境……………	小島麗逸	五	二五	六三
価値研究の方法と問題……………	塩野谷祐一	六	一	六七
米國管理会計論の成立……………	廣本敏郎	六	三	七〇
庄園領主支配と「住人等解」の成立……………	川島茂裕	六	四	七六
フランス航海条例について……………	山崎耕一	六	七	七三
アメリカ統一商事法典における動産善意取得について……………	吉田直	六	七	七六
研究ノート				
ダーウィンからエルトンへ……………	江上生子	二	六	二〇
世界気象機関の準立法活動……………	篠原梓	二	六	二〇
社会科学教育における「科学」の再把握……………	中西新太郎	二	六	二六

——鈴木正気氏の実践と構想における労働過程の位置づけをめぐって——

『テア・カンフ』誌上のスポーツ論と労働者スポーツ……………	上野卓郎	六	六	七六
ドストエフスキイとレスコフ……………	岩浅武久	六	六	七五
——その関わりについての覚書——				
総合商社からみたわが国商品取引所……………	小山良	六	六	七五

文献紹介

Hinrich Fink-Eitel, <i>Dialektik und Sozialethik: Kommentierende Untersuchungen zu Hegels „Logik“</i> , Verlag Anton Hain, Meisenheim am Glan, 1978				
ベンリッヒ・フィンク・アイテル『弁証法と社会倫理学——ヘーゲル「論理学」への注釈的研究——』アントン・ハイン出版社、マイゼンハイム・アム・グラン、一九七八年……………	嶋崎隆	二	二〇四	二五

書評

Murray, Martin J, <i>The Development of Capitalism in Colonial Indochina (1870-1940)</i> Berkeley Los Angeles London, University of California Press, 1980……………	菊池道樹	六	二二六	二〇一
---	------	---	-----	-----

年譜・著作目録

地田知平名誉教授略歴	一	二三	二三
地田知平名誉教授著作目録抄	一	二六	二六
藤津清治先生略歴	三	一五	三五
藤津清治先生著作目録	三	一六	三六

彙報

博士論文要旨および審査要旨(中村政則)	二	二二	三三
博士論文要旨および審査要旨(松元宏)	二	二七	二九
博士論文要旨および審査要旨(横山宏章)	六	三三	八七

一橋学会会則の一部改正について	六	三七	八三
一橋学会運営委員会			